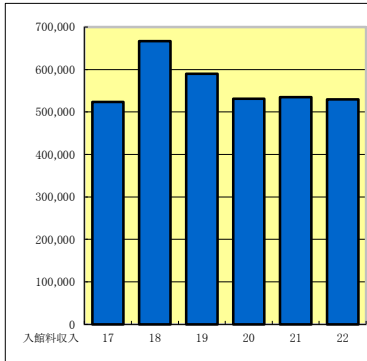
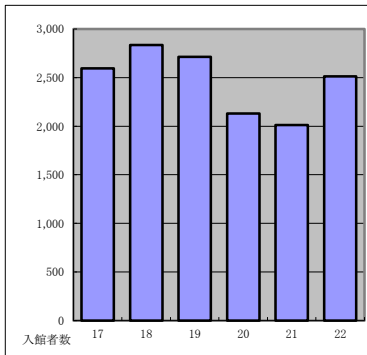


1, 天来記念館

施設の概要

住所	佐久市望月305番地2
開設	昭和50年6月
設置目的	比田井天来の遺業を顕彰し、後世に伝えていくとともに、諸作家の作品等を展示し、書道の発展向上に資する。
建物の概要	鉄骨コンクリート造り2階建て 延べ床面積 381.77㎡
休館日	毎週月曜日・国民の休日の翌日・12月29日～1月3日
施設内容	一般300円(団体250円)・大学、高校生250円(団体200円) ・小中学生150円(団体120円) ※歴史民俗資料館との共通入場券有り
その他	書道入門講座・年3回の展示替え

項目	年度	計
入館者数	17	2,596
	18	2,836
	19	2,713
	20	2,130
	21	2,011
	22	2,514
入館料収入	17	523,700
	18	666,600
	19	590,240
	20	531,150
	21	534,800
	22	529,500



現状と課題

書道の普及と入館者数の増加を目指しさまざまな企画展を実施している。平成22年度より新たな取組として「天来記念館書初め展」を企画し出品数249、参観者数300名という実績だった。学校との連携した事業「出発のこぼ展」を実施していたが、実施の時期の問題もあり平成21年度より中止となった。このため協議会委員から書道の普及に関し、学校との連携を挙げる意見が出されている。

今後の計画

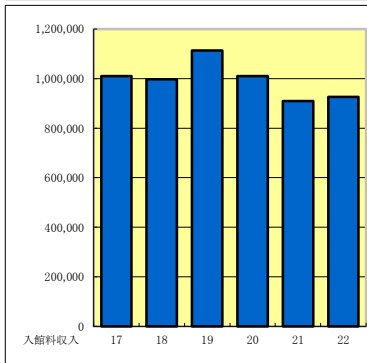
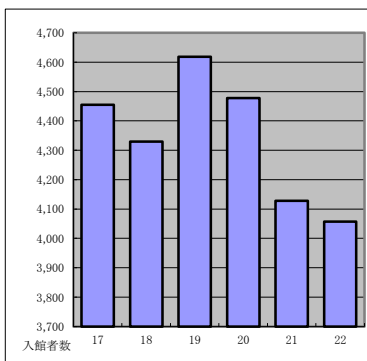
平成23年度は前回好評だった「忘れられないこぼ色紙展」の募集を行う。(10年後に展示会を開催)また、平成24年度には書道の発展と技術の向上を目的に「比田井天来ふるさと臨書展(仮称)」の開催を計画している。

2, 望月歴史民俗資料館

施設の概要

住所	佐久市望月247番地
開設	平成3年8月
設置目的	郷土における自然、歴史、民俗等の資料の収集及び調査並びに研究を行うとともに、これらの活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する。
建物の概要	鉄筋コンクリート造り2階建て 延べ床面積 703.62㎡
休館日	毎週月曜日・国民の休日の翌日・12月29日～1月3日
施設内容	一般300円(団体250円)・大学、高校生250円(団体200円) ・小中学生150円(団体120円) ※歴史民俗資料館との共通入場券有り
その他	

項目	年度	計
入館者数	17	4,455
	18	4,330
	19	4,618
	20	4,478
	21	4,128
	22	4,057
入館料収入	17	1,009,900
	18	996,950
	19	1,112,860
	20	1,010,730
	21	909,900
	22	925,650



現状と課題

入館者においては、目標(4,300人)を下回る結果であった。
近年、中山道を歩き、肌で歴史を感じたいという年配の方が多く、関心が高まっている。
このため、関心を持った人の興味を引く施設PRや、企画展などを開催することによって、入館者の増加につなげる工夫が必要である。
開館から20年が経過し、修繕が必要な箇所が出てきている。

今後の計画

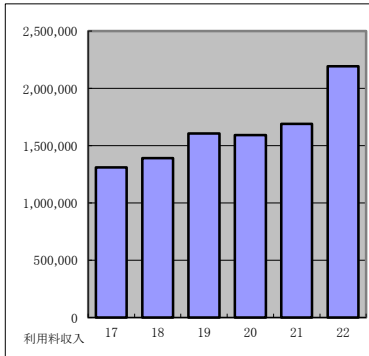
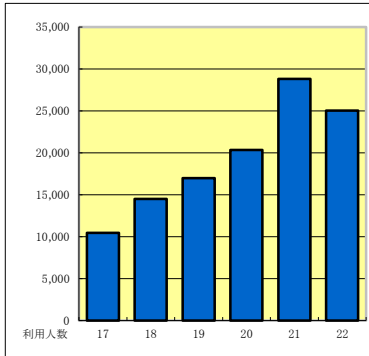
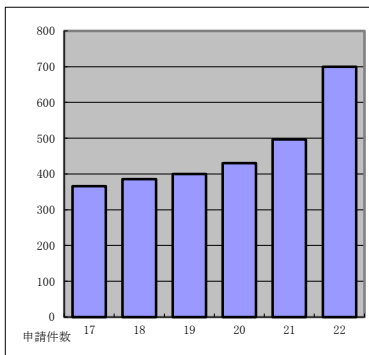
望月地域の地域史の解明を行うとともに、他の施設との連携を図るなど、新たな魅力を企画し集客の増加を図る。
榊祭りなど地域を映像として展示するなど、展示内容を検討している。

3, 交流文化館浅科

施設の概要

住所	佐久市八幡229番地
開設	平成15年6月
設置目的	生涯学習及び芸術文化の振興を図るとともに、住民の交流及び福祉の向上に資する。
建物の概要	地上2階建て 延べ床面積 1,986.91㎡
休館日	毎週月曜日・国民の休日の翌日・12月29日～1月3日
施設内容	ホール400席、音楽室2室、視聴覚室1室、親子室1室
その他	

項目	年度	計
申請件数	17	366
	18	386
	19	400
	20	430
	21	497
	22	700
利用人数	17	10,449
	18	14,513
	19	16,995
	20	20,323
	21	28,821
	22	25,038
利用料収入	17	1,310,650
	18	1,392,200
	19	1,605,700
	20	1,594,350
	21	1,689,700
	22	2,193,550



現状と課題

平成21年4月より5年間指定管理者として佐久市文化事業団へ管理を委託している。
 平成21年度、平成22年度と利用件数、利用料収入ともに増加しており成果が得られた。
 多様な市民ニーズに対応できる施設として人気が高く、更に増加する可能性がある。

今後の計画

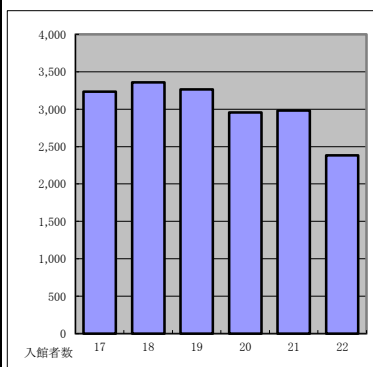
指定管理者制度の導入により利用者件数、利用者数共に増加している。
 今後も利用者のニーズを適確に捉え、市と事業団がともに利用しやすい施設となるようサービスの向上を図る。

4, 五郎兵衛記念館

施設の概要

住所	佐久市甲14番地1
開設	昭和48年8月
設置目的	市川五郎兵衛翁の開拓の遺業を顕彰し、偉大な事業に関する資料を整理保管するとともに学術研究に寄与する。
建物の概要	鉄骨コンクリート造り平屋建て 延べ床面積 184.68㎡
休館日	毎週月曜日・国民の休日の翌日・12月29日～1月3日
施設内容	入館無料
その他	「用水を歩く会」・「古文書を読む会」・「古文書調査報告会」・「企画展」

項目	年度	計
入館者数	17	3,233
	18	3,359
	19	3,263
	20	2,958
	21	2,980
	22	2,384



現状と課題

入館者数は前年より減少しているが、企画した教室や講座の参加者は減少していない。このため、施設に対する安定的なニーズはあると考えられる。

歴史的な知名度は高く、小中学校の授業でも取り上げられているため、市内への周知は行われている。このため、市外からの入館者を増やす新たな工夫が必要である。

今後の計画

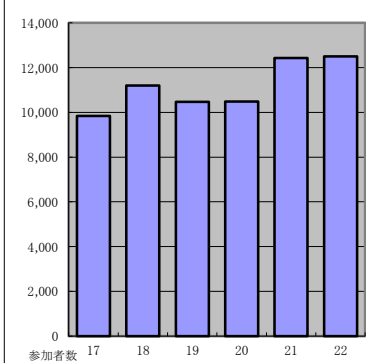
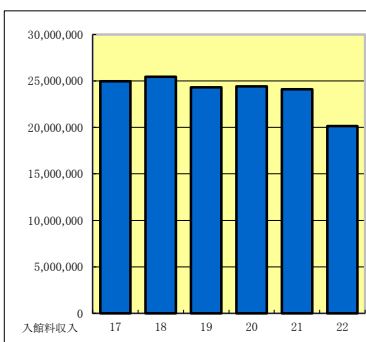
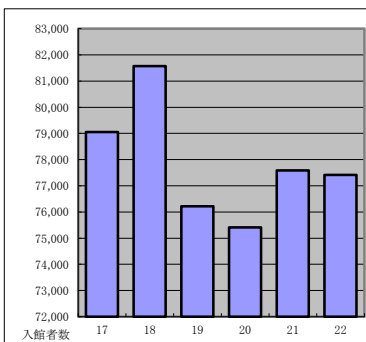
収蔵している古文書の調査研究と、それに基づく展示や活動を行い施設の魅力を向上させるとともに、他の施設との連携を検討し利用者の増加を図る。

5, 子ども未来館

施設の概要

住所	佐久市岩村田1931-1
開設	平成13年3月20日
設置目的	子どもの科学に関する知識の普及及び啓発を図り、もって次代を担う創造性豊かな子どもの育成に寄与する
建物の概要	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・地下1階地上3階建て 延べ床面積3486.79㎡
休館日	毎週木曜日・12月29日～1月1日
施設内容	常設展示室 企画展示室 科学体験工房 ライブラリー ドーム直径16mのプラネタリウム
その他	入館料(プラネタリウム以外) 大人500円(団体400円)・子ども250円(団体200円) 観覧料(プラネタリウム) 大人700円(団体560円)・子ども350円(団体280円) セット券(入館料+観覧料) 大人1,000円・子ども500円

項目	年度	計
入館者数	17	79,054
	18	81,572
	19	76,217
	20	75,409
	21	77,587
	22	77,419
入館料収入	17	24,953,410
	18	25,436,090
	19	24,299,890
	20	24,410,590
	21	24,099,500
	22	20,135,970
科学体験工房参加者数	17	9,837
	18	11,192
	19	10,472
	20	10,481
	21	12,433
	22	12,506



現状と課題

開館以来10年を経過し、館本体及び展示物等の改修が求められている。
入館者はここ数年横ばい状況であり、集客の図れる企画運営が必要である。
平日の利用者数が少ない状況であり、平日の利用者増を図る必要がある。

今後の計画

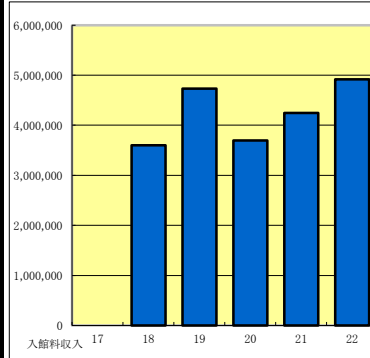
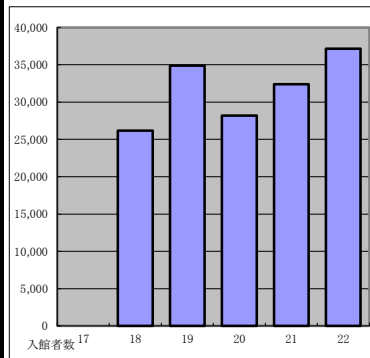
館の利用促進を図るため、集客力のあるイベントや企画展を行う。また、首都圏の小中学校の課外授業(林間学校)時に、近隣に保養所や宿泊施設を持っている自治体や、教育委員会等に、当館のPRを積極的に行い平日の入館者増を図る。

6, 昆虫体験学習館

施設の概要

住所	佐久市下平尾2681番地
開設	平成18年6月28日
設置目的	子供たちが身近に昆虫や自然と触れ合い、更にそれらに関する知識を深めてもらえるように施設整備された。
建物の概要	鉄骨造 2階建て 延床面積778㎡
休館日	標本等整理期間として4月1日～中旬及び12月1日～中旬まで休館
施設内容	大人200円、小人100円(小人は4才以上15歳未満) 団体割引(20名以上)大人160円、小人80円
その他	特別企画展(年4回開催)、ペットボトルクラフトや昆虫検定など他プログラムも実施

項目	年度	計
入館者数	17	
	18	26,157
	19	34,894
	20	28,187
	21	32,390
	22	37,152
入館料収入	17	
	18	3,601,000
	19	4,732,000
	20	3,694,000
	21	4,245,000
	22	4,914,000



現状と課題

昆虫体験学習館がある佐久平尾山公園は全国で3番目のハイウェイオアシスとして平成9年に全面の供用が開始され、年間約40万人の人が訪れる通年型観光拠点施設である。

高速から直接アクセス可能な公園であり、利用者については高速道路の割引等によってもその人数が大きく左右される。

H21、H22と実施されてきた高速道路土日割引が今年度6月19日をもって終了し、今後その影響により利用者の減少が心配される。

工夫を凝らし、魅力ある企画展の実施やカブトムシドームとの連携したプログラムの充実を図り、利用者の集客に努める必要がある。

今後の計画

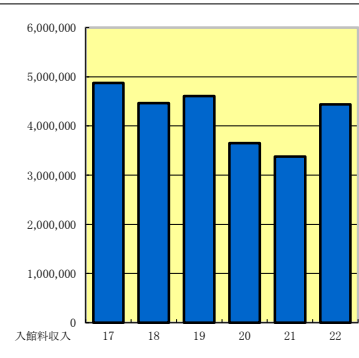
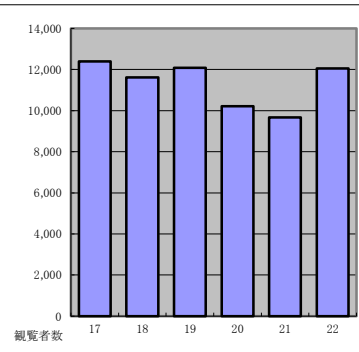
特別企画展(年間4回)の実施、及び通年を通じたプログラム事業の実施、蝶ドーム(仮称)の充実化を計画していく。

7, 近代美術館

施設の概要

住所	佐久市猿久保35番地5
開設	昭和58年5月
設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民文化の振興に寄与するため、設置する。
建物の概要	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・地上3階 延べ床面積 3,704. 22㎡
休館日	毎週月曜日・12月29日～1月3日
施設内容	一般500円(団体400円)・大学、高校生400円(団体300円) ・小中学生250円(団体200円)
その他	

項目	年度	計
観覧者数	17	12,399
	18	11,623
	19	12,080
	20	10,211
	21	9,673
	22	12,050
観覧料収入	17	4,872,650
	18	4,465,400
	19	4,604,400
	20	3,647,700
	21	3,379,600
	22	4,435,650



現状と課題

佐久市立近代美術館油井一二記念館は故油井一二氏が蒐集・寄贈した美術品等の調査研究を通して、価値を認識し、市民と美術文化の楽しみを分かちながら、収蔵品を次世代に引継いでいくことを使命としている。

これに基づきコレクションの魅力を伝えることを中心に位置付け収蔵品展を中心とした事業を展開している。

しかし収蔵品中心の展覧会では観覧者の増加につながっていない現状もある。

今後の計画

収蔵品では検証できない地域の美術文化を調査研究し、特別企画展として開催する。

具体的には佐久地域の公立美術館の仕事として、開館当時から開催してきた「信州の美術家シリーズ」など毎年度1回の特別企画で、市民の関心を高め施設の利用を促す。

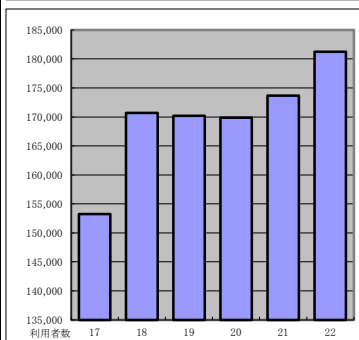
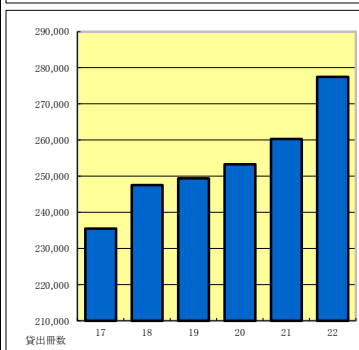
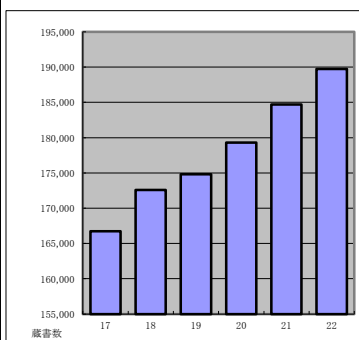
また、地域で活動し美術文化に親しんでおられる方と連携し、公募展や小企画展の開催を検討する。地域住民の作品を展示する機会として、佐久平の美術展・児童生徒写生会などの事業を継続、発展させ、住民が美術の活動を行う場所として館を提供する。

8-1, 中央図書館

施設の概要

住所	佐久市猿久保44番地1
開設	昭和54年4月
設置目的	社会教育法の精神に基き、国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 1,640.53㎡
休館日	毎週月曜日・毎月最終火曜日・前2項が休日の場合翌日 ・12月29日～1月3日・5月24日～6月2日
施設内容	平日 9時30分～18時30分・土日祝日 9時30分～18時
その他	おはなしの会・語りのおもてなし・子ども読書まつり・夏休み子どもまつり・おはなしの会クリスマススペシャル・音読者養成講座・俳句教室の開催

項目	年度	計
蔵書数	17	166,748
	18	172,590
	19	174,806
	20	179,313
	21	184,723
	22	189,737
貸出冊数	17	235,474
	18	247,510
	19	249,425
	20	253,264
	21	260,267
	22	277,486
利用者数	17	153,233
	18	170,670
	19	170,192
	20	169,880
	21	173,699
	22	181,269



現状と課題

図書館利用者の増加を目指し、平成22年度は、「俳句教室」を企画した。平成23年度はサマ-タイム図書館(8月6日・7日)を実施し、開館時間を朝8時とした。平成23年度から「おすすめ本」のコーナーを設置し、利用者との双方向の情報提供を行っている。なお、施設においては、建築後32年経過しており、施設の建て替え等の検討が必要である。

今後の計画

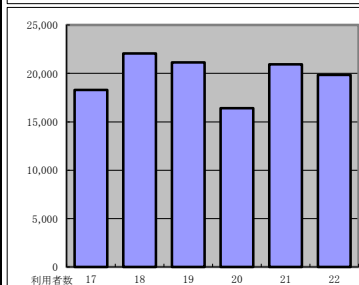
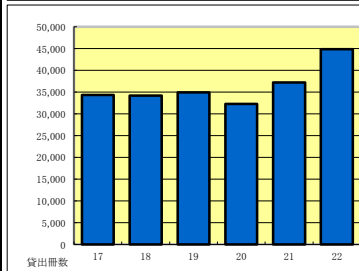
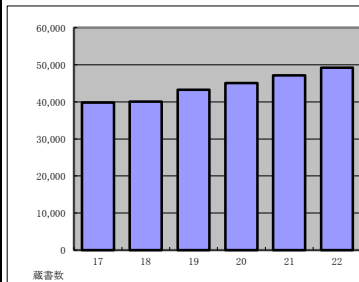
多様化する住民ニーズに応じた蔵書の充実を行い、利用者が、本と出合う喜びと新しい発見ができ、安心して心置きなく利用できる「日本一あたたかな図書館」を目指します。

8-2, 望月図書館

施設の概要

住所	佐久市望月409番地1
開設	平成7年8月
設置目的	社会教育法の精神に基き、国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 710.00m ²
休館日	毎週月曜日・毎月最終火曜日・前2項が休日の場合翌日 ・12月29日～1月3日・5月24日～6月2日
施設内容	全日 10時～18時
その他	ものがたりふれあいトーク・製本講習会の開催

項目	年度	計
蔵書数	17	39,844
	18	40,094
	19	43,238
	20	45,045
	21	47,154
	22	49,256
貸出冊数	17	34,317
	18	34,163
	19	34,936
	20	32,290
	21	37,197
	22	44,867
利用者数	17	18,285
	18	22,049
	19	21,137
	20	16,392
	21	20,932
	22	19,840



現状と課題

書家 比田井天来の生誕の地 望月として、書に関する書籍の充実に努めている。読み聞かせボランティアグループの発表の場の提供、活動に役立つ図書・情報の充実が課題である。平成23年度から「おすすめ本」のコーナーを設置し、利用者との双方向の情報提供を行っている。

今後の計画

多様化する住民ニーズに応じた蔵書の充実を行い、利用者が、本と出会う喜びと新しい発見ができ、安心して心置きなく利用できる「日本一あたたかな図書館」を目指します。

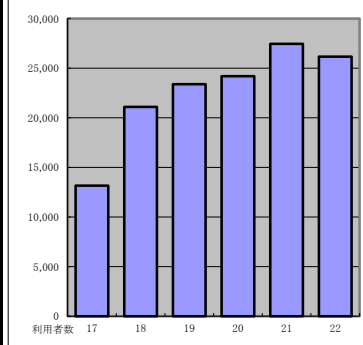
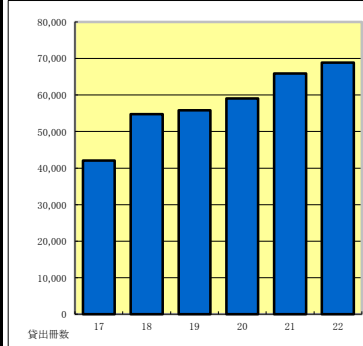
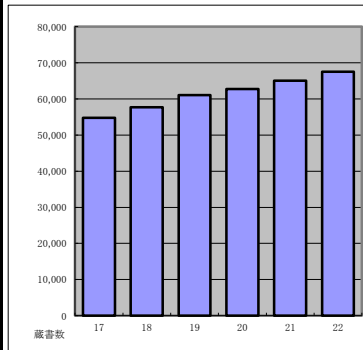
平成24年度に望月支所2階に図書館移転を計画している。

8-3, 浅科図書館

施設の概要

住所	佐久市八幡229番地(交流文化館浅科と併設)
開設	平成4年6月
設置目的	社会教育法の精神に基き、国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 965.00m ²
休館日	毎週月曜日・毎月最終火曜日・前2項が休日の場合翌日 ・12月29日～1月3日・5月24日～6月2日
施設内容	全日 10時～18時
その他	おはなしの会・歌うとしゃかん・図書館まつり・クリスマスおはなし会の開催

項目	年度	計
蔵書数	17	54,765
	18	57,653
	19	61,042
	20	62,713
	21	65,031
	22	67,511
貸出冊数	17	42,020
	18	54,795
	19	55,839
	20	59,091
	21	65,873
	22	68,869
利用者数	17	13,153
	18	21,078
	19	23,369
	20	24,189
	21	27,443
	22	26,155



現状と課題

図書館利用者の増加を目指し、平成22年度は、「加瀬館長とのトークイベント」を企画した。
平成23年度から「おすすめ本」のコーナーを設置し、利用者との双方向の情報提供を行っている。

今後の計画

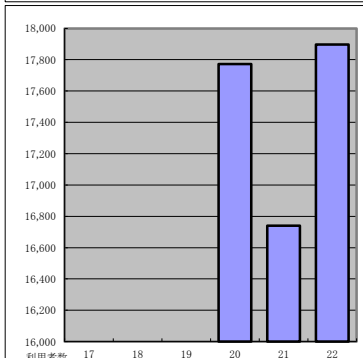
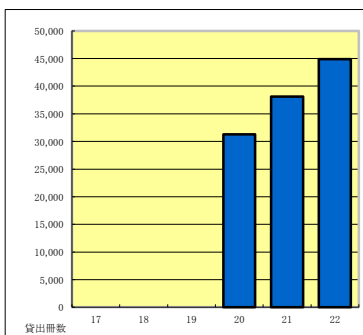
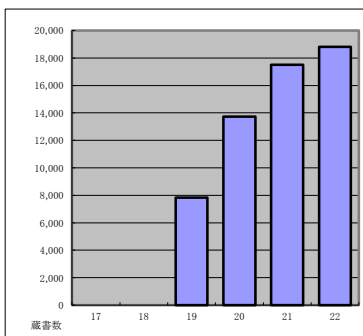
多様化する住民ニーズに応じた蔵書の充実を行い、利用者が、本と出合う喜びと新しい発見ができ、安心して心置きなく利用できる「日本一あたたかな図書館」を目指します。
また、隣接している複合文化施設と連携し、新たな利用者を開拓し、図書館利用者の増加を目指します。

8-4, サングリモ中込図書館

施設の概要

住所	佐久市中込1丁目19番2
開設	平成20年4月
設置目的	社会教育法の精神に基き、国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 244.37㎡
休館日	毎週月曜日・毎月最終火曜日・前2項が休日の場合翌日 ・12月29日～1月3日・5月24日～6月2日
施設内容	全日 10時～18時
その他	

項目	年度	計
蔵書数	17	
	18	
	19	7,825
	20	13,741
	21	17,504
	22	18,814
貸出冊数	17	
	18	
	19	
	20	31,307
	21	38,089
	22	44,912
利用者数	17	
	18	
	19	
	20	17,773
	21	16,741
	22	17,896



現状と課題

絵本・児童書・高齢者のための大活字本、文学書等中心に図書の充実を図っている。平成23年度から「おすすめ本」のコーナーを設置し、利用者との双方向の情報提供を行っている。

今後の計画

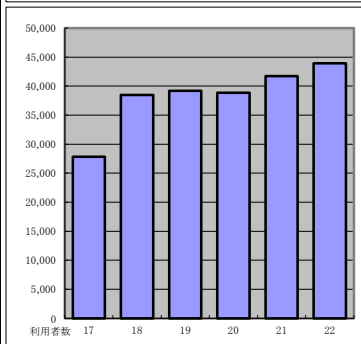
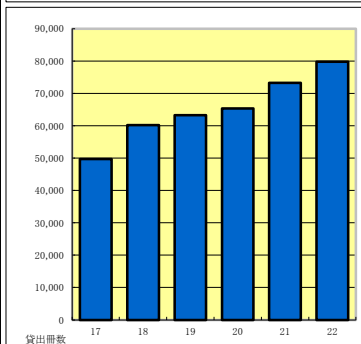
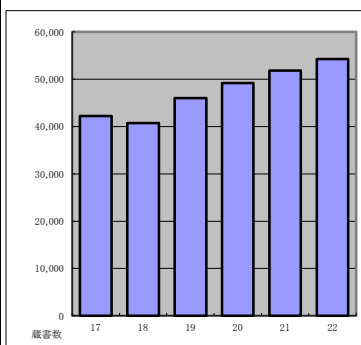
多様化する住民ニーズに応じた蔵書の充実を行い、利用者が、本と出合う喜びと新しい発見ができ、安心して心置きなく利用できる「日本一あたたかな図書館」を目指します。
サングリモ中込の他施設利用者や周辺住民等へ図書に接する機会を提供していきます。

8-5, 臼田図書館

施設の概要

住所	佐久市下小田切124番地1(コスモホールと併設)
開設	平成3年4月
設置目的	社会教育法に基づき、国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 620.00㎡
休館日	毎週月曜日・毎月最終火曜日・前2項が休日の場合翌日 ・12月29日～1月3日・5月24日～6月2日
施設内容	全日 9時30分～18時
その他	ブック☆ブックおはなしの会・おはなしの会スペシャル・親子手作り教室・おはなしの会クリスマススペシャル・星と宇宙のパネル写真展の開催

項目	年度	計
蔵書数	17	42,222
	18	40,739
	19	45,980
	20	49,179
	21	51,797
	22	54,268
貸出冊数	17	49,699
	18	60,237
	19	63,294
	20	65,326
	21	73,285
	22	79,770
利用者数	17	27,843
	18	38,478
	19	39,223
	20	38,858
	21	41,757
	22	43,957



現状と課題

図書館利用者の増加を目指し、平成22年度は、「館長と話そういろいろ座談会」を企画した。平成23年度から「おすすめ本」のコーナーを設置し、利用者との双方向の情報提供を行っている。

今後の計画

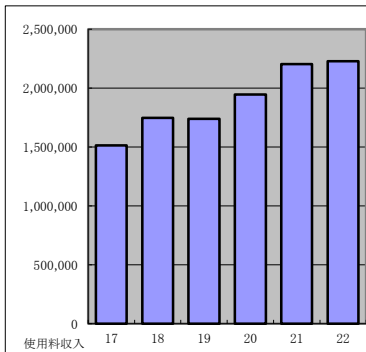
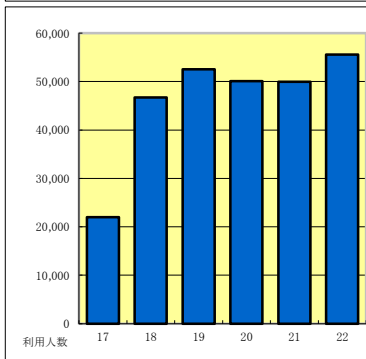
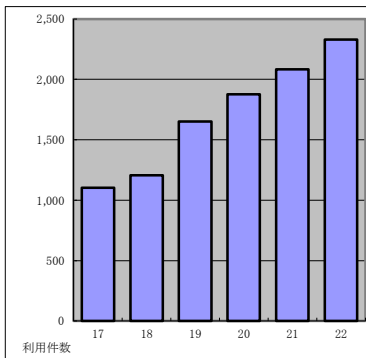
多様化する住民ニーズに応じた蔵書の充実を行い、利用者が、本と出会う喜びと新しい発見ができ、安心して心置きなく利用できる「日本一あたたかな図書館」を目指します。
また、隣接している複合文化施設と連携し、新たな利用者を開拓し、図書館利用者の増加を目指します。

9-1, 公民館本館(研修センター)

施設の概要

住所	佐久市中込2947番地
開設	平成14年4月
設置目的	公民館は、住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 1,038㎡
休館日	12月29日～1月3日
施設内容	大会議室①1,100円・会議室等⑤200～500円 (それぞれ入場料等を徴収しない場合と営業以外で1時間の使用)
その他	

項目	年度	計
利用件数	17	1,104
	18	1,207
	19	1,651
	20	1,875
	21	2,084
	22	2,329
利用人数	17	21,968
	18	46,710
	19	52,555
	20	50,065
	21	49,970
	22	55,551
使用料収入	17	1,512,580
	18	1,747,550
	19	1,738,600
	20	1,944,600
	21	2,202,300
	22	2,227,700



現状と課題

公民館本館として講座を開設しており、学習グループの活動拠点、各種会議・研修の会場として多くの市民が使用している。

当所昭和44年に長野県勤労者福祉センターとして建築されその後平成13年佐久市研修センターとして改築されたものの建築後44年が経過する中で老朽化が進んでいる。

今後の計画

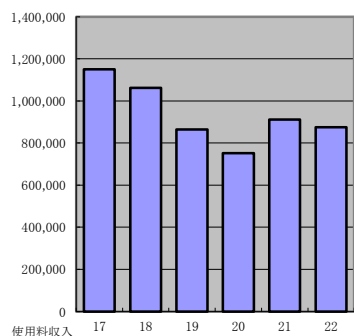
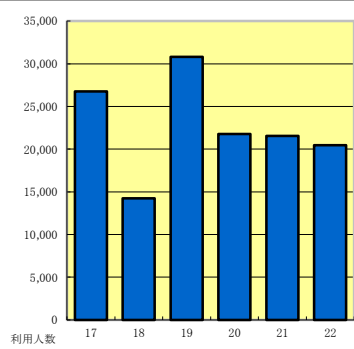
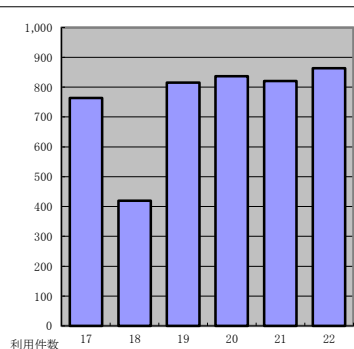
研修センターも含め、市民会館の整備計画を作成し整備していく。

9-2, 望月地区館(駒の里ふれあいセンター)

施設の概要

住所	佐久市望月303
開設	平成7年3月
設置目的	公民館は、住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 2,117㎡
休館日	毎週月曜日・国民の休日の翌日・12月29日～1月3日
施設内容	ホール①4,000～7,000円 会議室等⑤500～1,800円（それぞれ入場料を徴収しない場合と営業以外で使用の場合 平日・休日、午前・午後・夜間で区分）
その他	

項目	年度	計
利用件数	17	764
	18	420
	19	815
	20	837
	21	820
	22	863
利用人数	17	26,766
	18	14,248
	19	30,807
	20	21,765
	21	21,532
	22	20,470
使用料収入	17	1,149,650
	18	1,062,550
	19	863,700
	20	751,500
	21	911,500
	22	874,500



現状と課題

公民館望月地区館としての講座を開設しており、学習グループの活動拠点、各種会議・研修の会場として多くの市民が使用している。

今後の計画

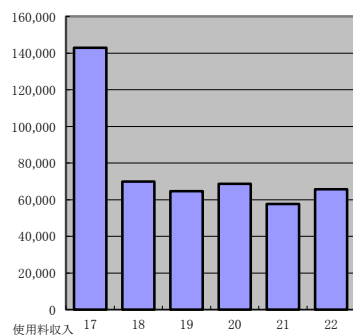
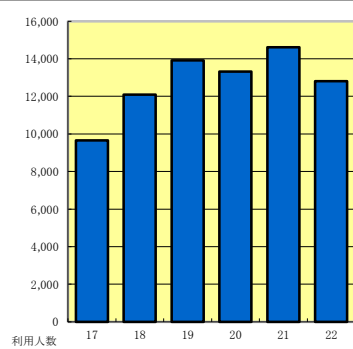
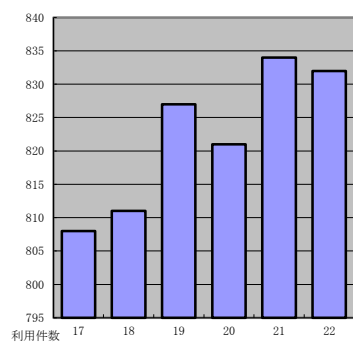
耐用年数を経過した施設設備から順次更新し、安心して利用できる会館として整備をしていく

9-3, 浅科地区館(浅科会館)

施設の概要

住所	佐久市塩名田1338番地
開設	昭和56年4月
設置目的	公民館は、住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 626㎡
休館日	12月29日～1月3日
施設内容	ホール800円①・会議室等100～300円④・調理室200円① (それぞれ入場料等を徴収しない場合と営業以外で1時間の使用)
その他	

項目	年度	計
利用件数	17	808
	18	811
	19	827
	20	821
	21	834
	22	832
利用人数	17	9,652
	18	12,100
	19	13,910
	20	13,321
	21	14,612
	22	12,803
使用料収入	17	142,900
	18	69,950
	19	64,600
	20	68,700
	21	57,700
	22	65,800



現状と課題

公民館浅科地区館としての講座開設を行うと共に、学習グループの活動拠点、各種会議・研修の会場として多くの市民が使用している。
建築後30年を経過し、建物の老朽化が進んでいる。

今後の計画

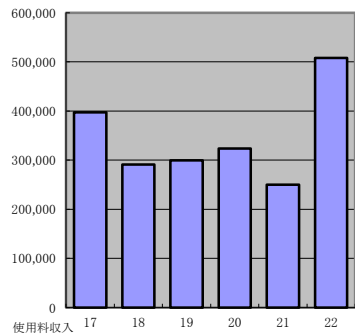
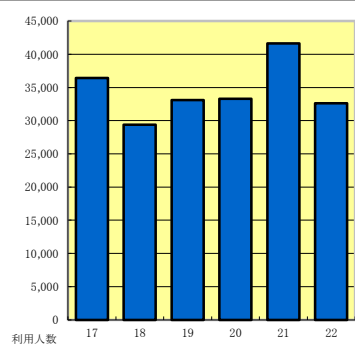
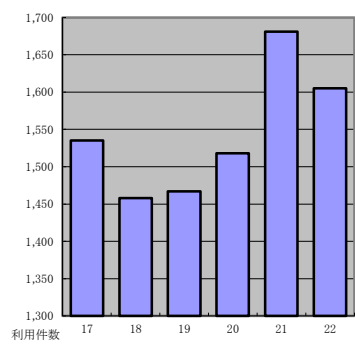
研修センターも含め、市民会館の整備計画を作成し整備していく。

9-4, 浅間地区館(浅間会館)

施設の概要

住所	佐久市岩村田543番地
開設	昭和40年7月
設置目的	公民館は、住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 998㎡
休館日	12月29日～1月3日
施設内容	大会議室1,400円①・会議室等200～600円⑤・調理室400円① (それぞれ入場料等を徴収しない場合と営業以外で1時間の使用)
その他	

項目	年度	計
利用件数	17	1,535
	18	1,458
	19	1,467
	20	1,518
	21	1,681
	22	1,605
利用人数	17	36,440
	18	29,408
	19	33,091
	20	33,287
	21	41,627
	22	32,605
使用料収入	17	397,100
	18	290,700
	19	299,400
	20	323,550
	21	249,800
	22	508,147



現状と課題

公民館浅間地区館としての機能と、市役所浅間出張所の機能を併せ持つ会館であり、講座開設を行うと共に、学習グループの活動拠点、各種会議・研修の会場として多くの市民が使用している。
30,000人を超える市民が、学習グループ活動も拠点として、また、地域の集会などで使用しており、利用率の高い会館である。
建築後30年を経過し、建物の老朽化が進んでおり、建替えの要望も出されている。

今後の計画

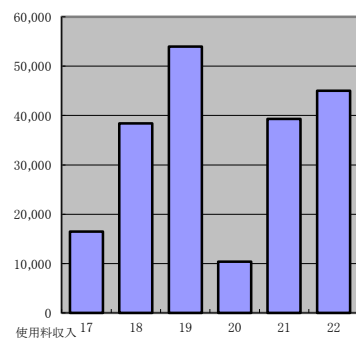
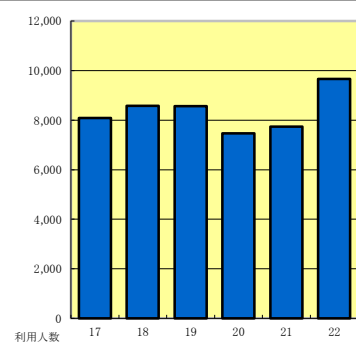
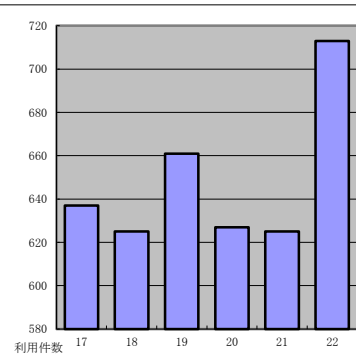
研修センターも含め、市民会館の整備計画を作成し整備していく。

9-5, 東地区館(東会館)

施設の概要

住所	佐久市志賀6059番地1
開設	昭和52年4月
設置目的	公民館は、住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 677㎡
休館日	12月29日～1月3日
施設内容	大会議室900円①・会議室等300～400円③・調理室500円① (それぞれ入場料等を徴収しない場合と営業以外で1時間の使用)
その他	

項目	年度	計
利用件数	17	637
	18	625
	19	661
	20	627
	21	625
	22	713
利用人数	17	8,080
	18	8,583
	19	8,564
	20	7,465
	21	7,732
	22	9,662
使用料収入	17	16,500
	18	38,400
	19	54,000
	20	10,400
	21	39,300
	22	45,000



現状と課題

公民館東地区館としての機能と、市役所東出張所との機能を併せ持つ施設で、学習グループの活動拠点、各種会議・研修の会場として多くの市民が使用している。
 建築後34年を経過し、建物の老朽化が進んでいる。

今後の計画

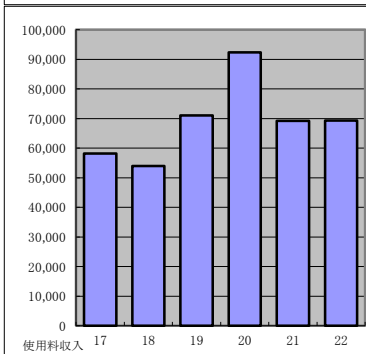
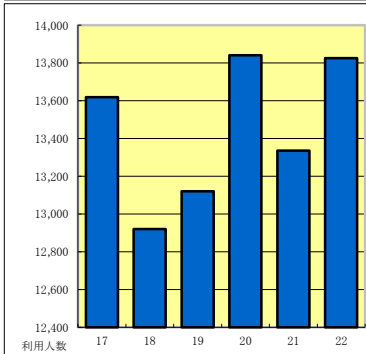
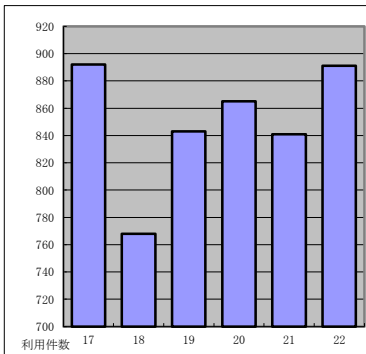
研修センターも含め、市民会館の整備計画を作成し整備していく。

9-6, 中込地区館(中込会館)

施設の概要

住所	佐久市平賀1897番地
開設	昭和36年6月
設置目的	公民館は、住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
建物の概要	延べ床面積 1,398㎡
休館日	12月29日～1月3日
施設内容	ホール1,800円①・会議室等300～800円⑤・調理室500円① (それぞれ入場料等を徴収しない場合と営業以外で1時間の使用)
その他	

項目	年度	計
利用件数	17	892
	18	768
	19	843
	20	865
	21	841
	22	891
利用人数	17	13,618
	18	12,920
	19	13,121
	20	13,841
	21	13,335
	22	13,825
使用料収入	17	58,200
	18	53,900
	19	71,000
	20	92,300
	21	69,200
	22	69,300



現状と課題

公民館中込地区館としての講座開設を行うと共に、学習グループの活動拠点、各種会議・研修の会場として多くの市民が使用している。
駐車場スペースが狭いうえ、建築後50年を経過し、建物の老朽化が進んでいる。

今後の計画

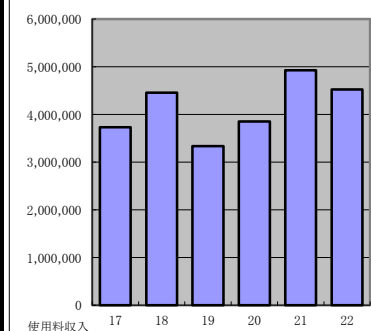
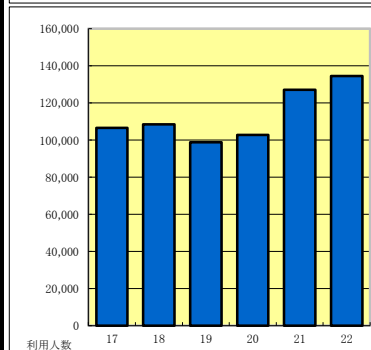
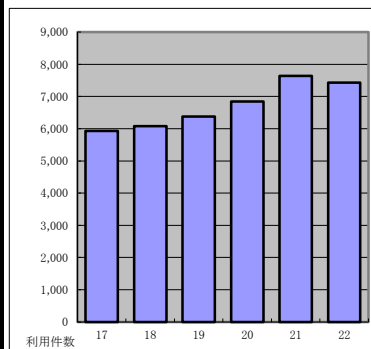
研修センターも含め、市民会館の整備計画を作成し整備していく。

9-7, 野沢地区館(生涯学習センター・野沢会館)

施設の概要

住所	佐久市取出町183番地
開設	平成13年4月
設置目的	生涯学習社会に対応し、市民の生涯学習活動の充実を図るとともに、地域の交流を促進する。
建物の概要	地上2階建て 延べ床面積 12,504㎡
休館日	12月29日～1月3日
施設内容	ホール②1,000～2,100円、会議室等⑫300～800円、音楽室⑰100～600円
その他	各種15団体事務所

項目	年度	計
利用件数	17	5,931
	18	6,079
	19	6,375
	20	6,840
	21	7,642
	22	7,427
利用人数	17	106,549
	18	108,521
	19	98,846
	20	102,712
	21	127,055
	22	134,586
使用料収入	17	3,736,460
	18	4,459,500
	19	3,340,400
	20	3,856,000
	21	4,925,500
	22	4,525,600



現状と課題

多様なニーズに対応できる施設として人気が高く、更に増加する可能性がある。貸し館における受付業務他施設の管理は、指定管理者に委託している。

今後の計画

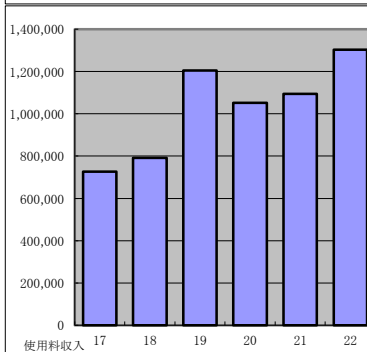
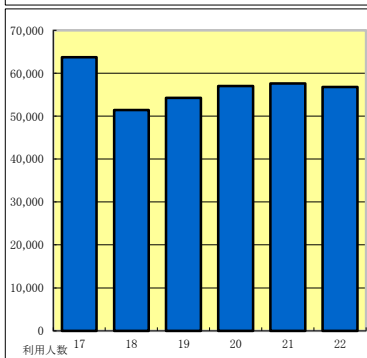
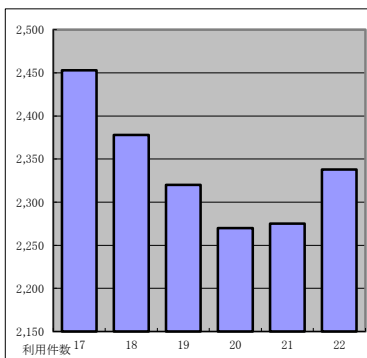
多様なニーズに対応できる施設として利用者也増加している。研修センターも含め、市民会館の整備計画を作成し整備していく。

9-8, 臼田地区館(あいとぴあ臼田)

施設の概要

住所	佐久市下越16番地5
開設	平成13年7月
設置目的	地域における総合福祉及びふれあいの拠点として、市民の福祉の増進と意識の高揚を図る
建物の概要	鉄筋コンクリート平屋建 延床面積 5,657.85㎡
休館日	12月29日～1月3日
施設内容	ホール①1,900円・会議室等⑧200～600円・調理室①900円 (それぞれ営業以外で1時間の使用)
その他	

項目	年度	計
利用件数	17	2,453
	18	2,378
	19	2,320
	20	2,270
	21	2,275
	22	2,338
利用人数	17	63,739
	18	51,383
	19	54,243
	20	57,027
	21	57,569
	22	56,803
使用料収入	17	726,900
	18	791,700
	19	1,204,300
	20	1,052,000
	21	1,094,200
	22	1,303,400



現状と課題

本施設は、公共団体又は公共的団体等が市民の福祉の増進又は文化若しくは教養の向上を図ることを目的とする会議、講習会、展示等を行うために使用できる公民館としての貸館、複数の公的事業所による行政財産使用及び通所介護事業(デイサービス)を展開し福祉の向上を図る複合施設です。複合ゆえに維持管理及び運営が難しい面がある。* 公民館要素が強い施設

今後の計画

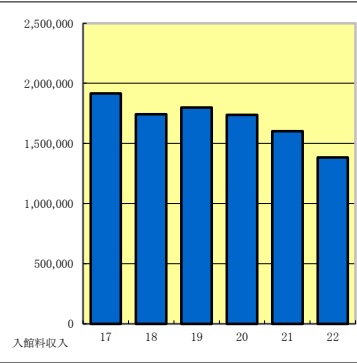
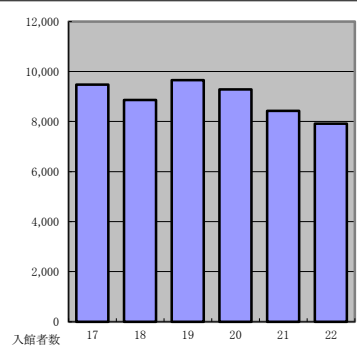
現状においては、ハード面での改修予定はないので施設運営は指定管理者(佐久市社会福祉協議会)において現行どおり期間内は行っていく。

10, 旧中込学校

施設の概要

住所	佐久市中込1877番地
開設	明治8年12月
設置目的	明治5年(1872)に学制が公布され、新学制の実践のために佐久地方でも小学校の建設が急がれた。明治6年(1873)下中込村の少林寺を仮校舎として成知学校が開校。明治8年(1875)、擬洋風の新校舎落成。明治9年(1876)、校名を中込学校に改称。
建物の概要	木造二階建 寄棟造り 妻入り 棧瓦葺き 塔屋付き 延べ床面積 521.8㎡
休館日	毎週月曜日(祝日のときはその翌日)12月29日～1月3日
施設内容	一般250円(団体200円)・高校生以上150円(団体120円) ・小中学生120円(団体100円)
その他	

項目	年度	計
入館者数	17	9,474
	18	8,864
	19	9,662
	20	9,281
	21	8,432
	22	7,914
入館料収入	17	1,916,610
	18	1,743,310
	19	1,799,470
	20	1,736,790
	21	1,601,760
	22	1,383,800



現状と課題

- ・運営内容については、旧中込学校保存会の協力を得て、学芸員により説明や展示の工夫をし、来館者へのサービスを充実させる必要がある。
- ・施設の改修については、耐震診断の結果を踏まえて、貴重な遺産を将来に繋げるよう年次計画により、大規模修繕の実施を検討していく。
- ・施設案内については、案内看板が不足しているため、今後、建設部署や観光部署との連携を図り、充実させる。

今後の計画

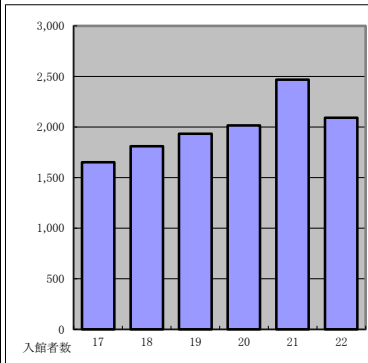
- ・集客対策として、バルーンフェスティバルの周遊コースに組み入れてもらうなどの対策を講じているが、今後は開校記念日のイベント開催等により観覧者の増を図っていく。
- ・施設の維持については、大規模修繕・小規模修繕を明確にして実施を検討していく。合わせて観覧者により良い状態で観覧できるようベンチの設置等、環境の充実を図る。
- ・管理棟のトイレについては、和式の男女共用となっているが、平成23年度において分離したトイレ工事を実施する。

11, 島崎藤村旧宅

施設の概要

住所	長野県佐久市前山貞祥寺内境内
開設	昭和49年
設置目的	藤村が明治32年(1899)小諸義塾教師として小諸へ赴任してから明治38年(1905)同教師を辞するまで6年間を過ごした家。大正9年に本間隆氏によって佐久市前山南に移転。その後、小諸市への移転話もあったが纏まらず、現在地に移転し、昭和49年に解体復元工事を施し、現在に至る。
建物の概要	木造茅葺平屋建 延べ床面積 117.3㎡
休館日	毎週月曜日及び木曜日(祝日のときはその翌日)、11月下旬から4月中旬
施設内容	観覧無料
その他	

項目	年度	計
入館者数	17	1,649
	18	1,810
	19	1,932
	20	2,016
	21	2,468
	22	2,090



現状と課題

- ・文化財とし指定を受けるには当時の間取りを忠実に復元することが必要であるが、2度の移転改築を経て間取りが異なっているため、困難である。
- ・交通の便については、単独課では改善がむずかしい。場所もわかりづらいので、車で来られる方のために、案内看板の充実、及びナビ検索が容易になるように、案内に地番表示を加えるなど充実を図りたい。

今後の計画

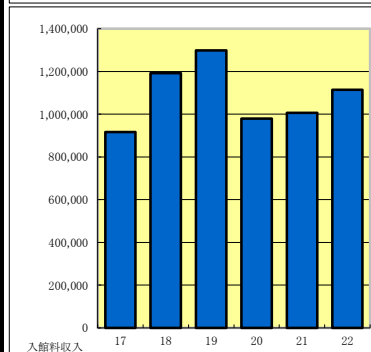
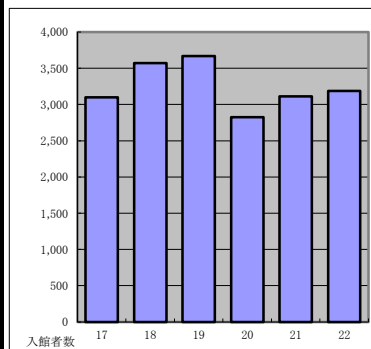
- ・藤村旧宅については知名度が低いので、県宝である貞祥寺惣門及び山門と合わせて文化財課ホームページにより、情報を発信するなど周知を図り、誘客に努める。
- ・観光パンフレットへの掲載依頼と合わせてネット配信の機会を増やす。
- ・映画等のロケの依頼などに協力する等、情報発信に取り組む。

12、天体観測施設

施設の概要

住所	佐久市臼田3113番地1
開設	平成8年11月
設置目的	宇宙や天体に関する観望及び学習を通し、地域住民の教養の向上と文化振興を図る。
建物の概要	鉄骨造り平屋建て 延べ床面積 354㎡
休館日	毎週月曜日及び火曜日・国民の休日の翌日・12月29日～1月3日
施設内容	60cm反射望遠鏡1台、20cm屈折望遠鏡2台、研修室1室 一般500円(団体400円)・小中学生250円(団体200円)
その他	観望会9回557人、学級・教室13回221人 出張観望会3日間548人、バスツアー2回71人

項目	年度	計
入館者数	17	3,099
	18	3,571
	19	3,670
	20	2,827
	21	3,114
	22	3,187
入館料収入	17	916,850
	18	1,193,000
	19	1,298,350
	20	979,300
	21	1,006,650
	22	1,114,250



現状と課題

天体観測の楽しさを広く情報発信することにより、天文に興味関心を持つ人の拡充に努め、誘客を図っている。
子ども未来館等との連携の強化を図るなど、市内の文化施設との連携を深め、安定した入館環境の整備を図り、効果的な運営を検討する。

今後の計画

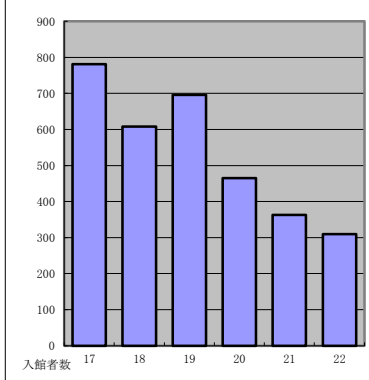
天体観測施設という特徴をさらにPRし、型にはまらない事業を展開し集客に務める。
特徴のある施設であることから、急激な増加は見られないが地道な活動の成果により増加する傾向にあるため、今後も継続的な取組が必要である。

13, 臼田文化センター

施設の概要

住所	佐久市下越248番地12
開設	昭和56年8月
設置目的	歴史、民俗、産業、美術及び自然科学に関する資料を収集し、これを展示及び保存することにより住民の教養の向上、調査研究等に広く住民の利用に寄与し、もって市文化の向上に資する。
建物の概要	鉄骨コンクリート造り2階建て(収蔵庫は平屋建て) 延べ床面積 510㎡(うち130㎡は収蔵庫)
休館日	毎週月曜日及び火曜日・国民の休日の翌日・12月29日～1月3日
施設内容	入館無料
その他	

項目	年度	計
入館者数	17	781
	18	608
	19	696
	20	465
	21	363
	22	310



現状と課題

主な展示品であった川村吾蔵作品が記念館で展示するようになり、入館者数が大幅に減少した。

現在は故川村清人氏から寄贈された書画と焼き物を展示している。

焼き物は佐久の入沢焼、前山焼、上田の染屋焼、長野の松代焼などを展示し、書画については室町から明治まで幅広く展示を行っている。

今後の計画

今まで主に展示していた収蔵品が新しい施設に移ったことにより、施設の在り方を検討することが必要となった。

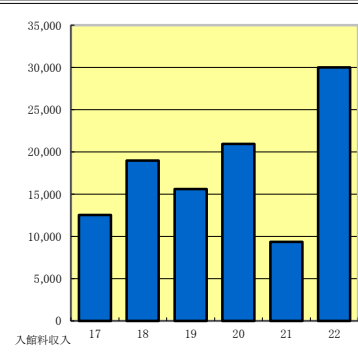
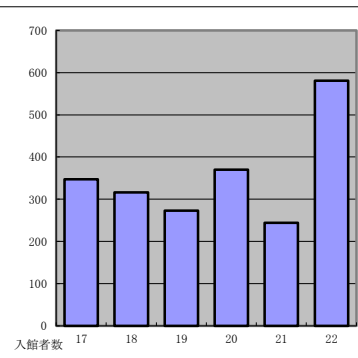
このため、その方向性を検討し、施設の有効活用のため、その活用方法を検討する。

14, 鎌倉彫記念館

施設の概要

住所	佐久市下小田切8番地6
開設	昭和61年9月
設置目的	木内速吉氏寄贈の趣旨により、美術館作品を保管展示し、その業を記念するとともに、館内を利用しての学習、展示等による社会教育活動により地方文化の振興と芸術への関心を高める。
建物の概要	地上2階建て延べ床面積 281㎡
休館日	毎週月曜日・国民の休日の翌日・12月29日～1月3日
施設内容	展示面積197㎡ 一般100円(団体80円)・高校生以下50円(団体40円)
その他	毎月第2土曜日 鎌倉彫教室

項目	年度	計
入館者数	17	347
	18	316
	19	273
	20	370
	21	244
	22	581
入館料収入	17	12,540
	18	18,980
	19	15,600
	20	20,960
	21	9,340
	22	30,010



現状と課題

佐久市文化事業団を指定管理者として、管理運営を委託する。また、自主事業に対する補助を行う。

委託先である佐久市文化事業団の企画した「絵手紙展」の開催により、大幅な入館者の増加が見られた。鎌倉彫教室への参加者数は大幅に伸びており、概ね成果が得られた。

今後の計画

芸術性は高いものの、市民には鎌倉彫の知名度は低く、鎌倉彫教室など地道な活動の継続や新たな取り組みにより増加する可能性がある。

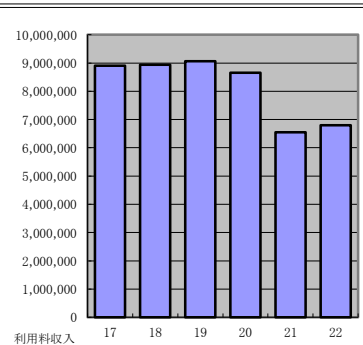
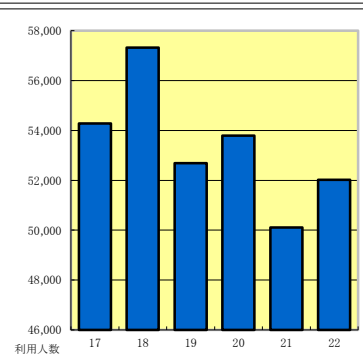
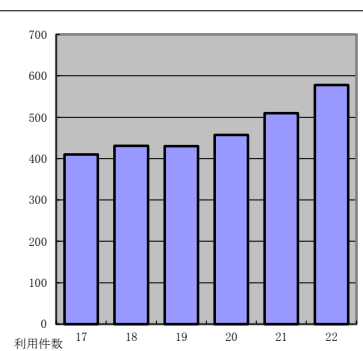
管理運営は引き続き指定管理者により行い、サービスの向上と経費節減を図る。また、施設の老朽化が進んでいることから、計画的に改善を図り、快適に利用できる施設を目指す。

15, コスモホール

施設の概要

住所	佐久市下小田切124番地1
開設	平成3年7月
設置目的	地域住民の文化の振興及び福祉の増進を図る。
建物の概要	鉄筋コンクリート造 地上4階建て 延べ床面積 5,803.24㎡
休館日	毎週月曜日・国民の休日の翌日・12月29日～1月3日
施設内容	大ホール800席、小ホール250席、会議室9室
その他	佐久市文化事業団による指定管理で運営

項目	年度	計
利用件数	17	410
	18	431
	19	430
	20	457
	21	510
	22	578
利用人数	17	54,285
	18	57,329
	19	52,684
	20	53,797
	21	50,104
	22	52,014
利用料収入	17	8,911,150
	18	8,934,400
	19	9,061,300
	20	8,661,540
	21	6,545,050
	22	6,794,300



現状と課題

佐久市文化事業団を指定管理者として、管理運営を委託するほか、コスモホールの機械設備等の維持管理や老朽化に伴う改修工事を行う。
また、自主事業に対する補助を行う。

今後の計画

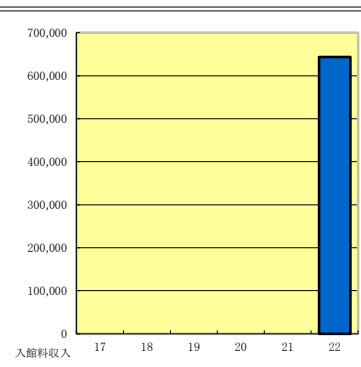
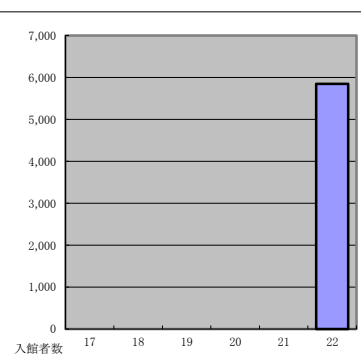
昨年度総合文化会館の建設が中止となり市民が質の高い文化芸術に触れる機会の拡充など、本施設に対するニーズは今後増加が見込まれる。また、自主事業においては、幅広い年代層を対象に様々な催し物を企画し、より多くの市民に舞台芸術に触れる機会を提供している。

16, 川村吾蔵記念館

施設の概要

住所	佐久市田口3112番地
開設	平成22年3月
設置目的	川村吾蔵の業績を顕彰し後世に伝えていくとともに、芸術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、創造的活動への参画を通じたさまざまな交流の機会を創出し、もって心豊かな市民生活及び活力のある社会形成に寄与する。
建物の概要	鉄筋コンクリート造り平屋建て 延べ床面積 517.95㎡
休館日	毎週火曜日・国民の休日の翌日・12月29日～1月3日
施設内容	一般300円(団体250円)・大学、高校生200円(団体150円) ・小中学生100円(団体50円) ※1時間300円で多目的室を貸出
その他	

項目	年度	計
入館者数	17	0
	18	0
	19	0
	20	0
	21	0
	22	5,847
入館料収入	17	0
	18	0
	19	0
	20	0
	21	0
	22	643,650



現状と課題

平成22年度開館の施設であり、昨年度は開館初年度と言うことで多くの来館者があった。

本年度は入館者が減少しており、施設の周知や他の施設と連携して事業を行うなど、新しい取組が必要である。

本年8月には美術館と連携した事業として「ごぞう作品をかこう!」を実施し、10月には展示替えを行った。

今後の計画

特徴ある施設のため定期的に展示替えを行い、新しい魅力の発信に努める。

実施する事業は新規に行う事業であるため、継続的に取り組むことにより事業の周知を図る。

入館者の状況を把握し、今後の事業展開に活用する。